

平成27年度

入学試験問題

(40分)

国語

(進学コース)
(ベーシックコース)
(マネジメントコース)

学校法人 成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を上げて監督者に知らせなさい。
- 問題の答えは、ていねいな字で書きなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数については、句読点、「」なども一字に数えます。)

現代は「情報過多^①」だと言われます。情報過多というのは、別の言い方をすれば、身につかない情報ばかりが増えていくことです。知っていても、役に立たない。

手に入る情報ばかりが増えていけば、そのぶんカシコくなるというタンジュンな話ではありません。

ネットを使えば、たいいていのがすぐにわかる。そう思っている人もいるでしょう。でも、その「すぐにわかる」点こそが、ネットの問題点です。

なにか知りたいことが出てくる。それを入力して「検索」とクリックすれば、かなりのカクリツで「あ」が出る。

何が問題か。それは数学を教わるのと同じようなものだからです。基本的に数学は教わってはいけない学問です。歴史などは、すでに事実とされている知識をおぼえていかないと、話が進みません。ふつうの人が、自ら史実をいちいち掘り起こす必要はない。

数学の場合は事情が異なります。問題の解き方や答えを丁寧に教わると、かえって力がつきません。応用問題ができなくなるからです。

(Ⅰ)、いくら何でもイコールの意味とか、基本的なことは人に教わらざるをえないという面があります。実際の教育現場では、公式を教えることも仕方がないでしょう。すべての生徒に、二次方程式の公式を発見させるのは「か」が折れます。【a】

(Ⅱ)、公式を丸暗記することには意味がありません。生徒の側は、公式を教わったうえで、(A)それが成り立つのかを、最初から自分でもう一回やってみなくてははいけません。【b】

現実のテストでは、公式を丸暗記しておくだけで、正解を出せる問題もあるでしょう。だから、それでテストの点数はある程度取れるかもしれませんが。

しかし、それでは考える力が身についたことにはなりません。【c】

公式の丸暗記というのは、単なる知識を増やしているにすぎないのです。

数学の場合は、公式を導き出すまでの論理が大切で、その論理をつくるのが、「い」ということです。

(B) 公式を導くのがむずかしいとすれば、それは時間をかけないからです。【d】

数学ができない人の典型的な思考パターンは「2 a マイナス a は？」と聞かれて「2 です」というやつです。念のために言っておきますが、正解は「a」です。

では前者が絶対に間違いかといえ、そんなことはありません。2 a から a を取れば 2 になる、というのは、数学とは別のルールのうえでは正しいとされることもあるのです。しかし、数学のルールでは違う、というだけです。これがわからない子どもには、「2 a とは、a が 2 つあることを簡略化して書いているんだよ」というところから丁寧に説明しなければいけない。それは少々メンドウカもしれませんが、そうむずかしい話ではない。

(Ⅲ)、丁寧に説明することを怠るから、ついていけない子どもが出てくる。そこでつかえた子どもは、「算数って無「き」苦「き」だよ」と抵抗する。P【その抵抗は自然な反応です】から、それを乗り越えられるようにすればいいだけの話です。

そういう過程を経ないで、ただ「2 a マイナス a イコール a だ。つべこべ言わずにおぼえろ」と頭に叩き込ませたところで、数学ができるようになるわけではないということは、おわかりでしょう。

ネットで検索すれば、「答えのようなもの」はたくさん出てきます。そうした情報があふれています。しかし、Q【さほど意味のない知識も多い】のです。

《出典 養老孟司『「自分」の壁』》

問1 ——線部(A) (オ) のカタカナは漢字に直し、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。(とめ・はね・はらいに注意して楷書で丁寧に書くこと。)

問2 ——線部①「過多」の対義語を漢字で答えなさい。

問3 P【その抵抗は自然な反応です】 Q【さほど意味のない知識も多い】の線部 a ~ f の品詞名を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号を何度用いてもよい)

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|-----|---|------|---|-----|
| ア | 名詞 | イ | 動詞 | ウ | 形容詞 | エ | 形容動詞 | オ | 助動詞 |
| カ | 副詞 | キ | 連体詞 | ク | 接続詞 | ケ | 感動詞 | コ | 助詞 |

問4 くく線部「典型的な」の言葉の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 代表的な イ 伝統的な ウ 模範的な エ 形式的な

問5 (I)、(II)、(III)に入れるのに最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア もちろん イ あるいは ウ しかし エ そして オ ところが

問6 (A)、(B)に入れるのに最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア およそ イ もしも ウ たとえ エ まさに オ なぜ

問7 「あ」、「い」に入る最も適当な言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|------|------|-------|
| あ | ア 問題点 | イ 情報 | ウ 意味 | エ 答え | オ 推測 |
| い | ア 学ぶ | イ 答える | ウ 書く | エ 解く | オ 考える |

問8 「か」、「き」に入る語を、それぞれ漢字一字で答えなさい。

問9 —線部A「ネットの問題点」とは、ここではどのような点にあると書かれているか、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 悪質な情報が多い
イ 知っていても、役に立たないことが多い
ウ 考える力が身につかない
エ 答えがたくさん出てくる
オ 誰でも自由に情報収集できる

問10 —線部B「基本的に数学は教わってはいけない学問です」と筆者が言う理由を、「くから」に続くように、本文中より十一字で抜き出さない。

問11 —線部C「前者」を説明した次の文の□に入る最も適当な言葉を、本文中から抜き出さない。
2 a マイナスaイコール□です、と答える人。

問12 —線部D「これ」は何を指しているか、「くということ」に続くように、本文中より十字で抜き出さない。

問13 —線部E「そういう過程」を説明している部分を、「くする」という過程」に続くように、本文中より四十五字以内で抜き出し、その部分の最初と最後の三字を答えなさい。

問14 本文は次の一文が抜けている。この文が入るのに最も適当な箇所を、本文の【a】く【d】から選び、記号で答えなさい。
その手間が必要なのです。

問15 この文章につける題として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|-----------|---|------------|
| ア | 数学の思考パターン | イ | 丁寧な説明の必要性 |
| ウ | 現代社会の危険性 | エ | 情報過多の問題 |
| オ | 教育現場での課題 | カ | 数学的思考力の重要性 |